

平成30年度版

小学4年生社会

単元「住みよいくらしをつくる」

## 小単元「水はどこから」

学習指導・発問計画

～わたしたちの地域を流れる矢作川を題材として～

( 岡崎市版 )

小単元「水はどこから」学習指導計画  
～ わたしたちの地域を流れる矢作川を題材として ～

目 次

1. はじめに.....	1
2. 小単元の指導・評価計画	
・ 目標.....	1
・ 評価基準.....	2
・ 知識の構造図.....	3
・ 指導計画.....	4
・ 発問計画・学習教材.....	6
1 時限目「水の使われ方とじゅんかん」 .....	6
2 時限目「水のふるさと」 .....	8
3 時限目「矢作川と水害」 .....	9
4 時限目「矢作川の水害をふせぐ工夫」 .....	11
5 時限目「矢作川を守るためにわたしたちにできること」 .....	13

# 1 はじめに

本学習教材（素案）は、地域を流れる「矢作川」を題材としています。

小単元「水はどこから」では、生活や産業に欠かせない水が、どこからきてどのように活用されているかを学びます。本教材では、この内容に加え、近年発生した大規模水害に備えるために、水害の恐ろしさや水害が発生した時に行動についても学べる内容となっています。

## 【 学習教材を作成する上で配慮する点 】

- ・ 4年生までに習わない漢字は用いない。  
やむなく漢字を使用する場合は、漢字にルビをふる。
- ・ 授業の進め方は、子どもたちに伝わりやすいよう、イラストや図等を用いることを念頭に置く。

## 【 学習教材を活用頂く上で配慮する点 】

- ・ 教材数が多いため、授業で活用頂く教材は教員に選んで頂く。

# 2 小単元の指導・評価計画

## 【 目標 】

### 【小単元「水はどこから」の目標（教師用指導書より抜粋）】

- 飲料水にかかわる対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解して、これらの諸活動に関心を持ち、それを意欲的に調べ、地域社会の一員としてよりよい生活環境を考えようとする。
- 地域の人々の飲料水を確保する諸活動について学習問題を見だし、飲料水にかかわる対策や事業を的確に見学、調査したり、具体的資料を活用したりして必要な情報を集めて追求し、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることについて考えたことを適切に表現する。

### 【水害について学ぶための目標】

- 身近な矢作川を題材として、水害がどのように起こるのかを想像し、それを防ぐために地域の人々が協力して取り組んでいることを理解する。
- 万が一水害が起こった時のために、自分や家族、地域の人々で何ができるのかを考え、自分の生活に生かすとともに、家族に発信する。

## 【 評価基準 】

※下記の青字は、水害を伝える為に追加した内容を示す。

### ○社会的事象への関心・意欲・態度

- ①市の飲料水の確保の対策や事業について、関心をもって調べようとしている。
- ②地域社会の一員として、川や森林の環境を守る人々の活動に関心を持ち、自分からも節水や飲料水の再利用などの取り組みに協力しようとしている。
- ③矢作川の水害について、自分の周りでも起こるかもしれない災害として関心をもって発言しようとしている。

### ○社会的な思考・判断・表現

- ①市の飲料水の確保の対策や事業について、学習問題の予想や、学習計画を考えて表現している。
- ②飲料水または矢作川の水害にかかわる対策や事業を的確に見学、調査したり、具体的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み、追求し、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることについて考えたことを適切に表現している。

### ○観察・資料活用 of 技能

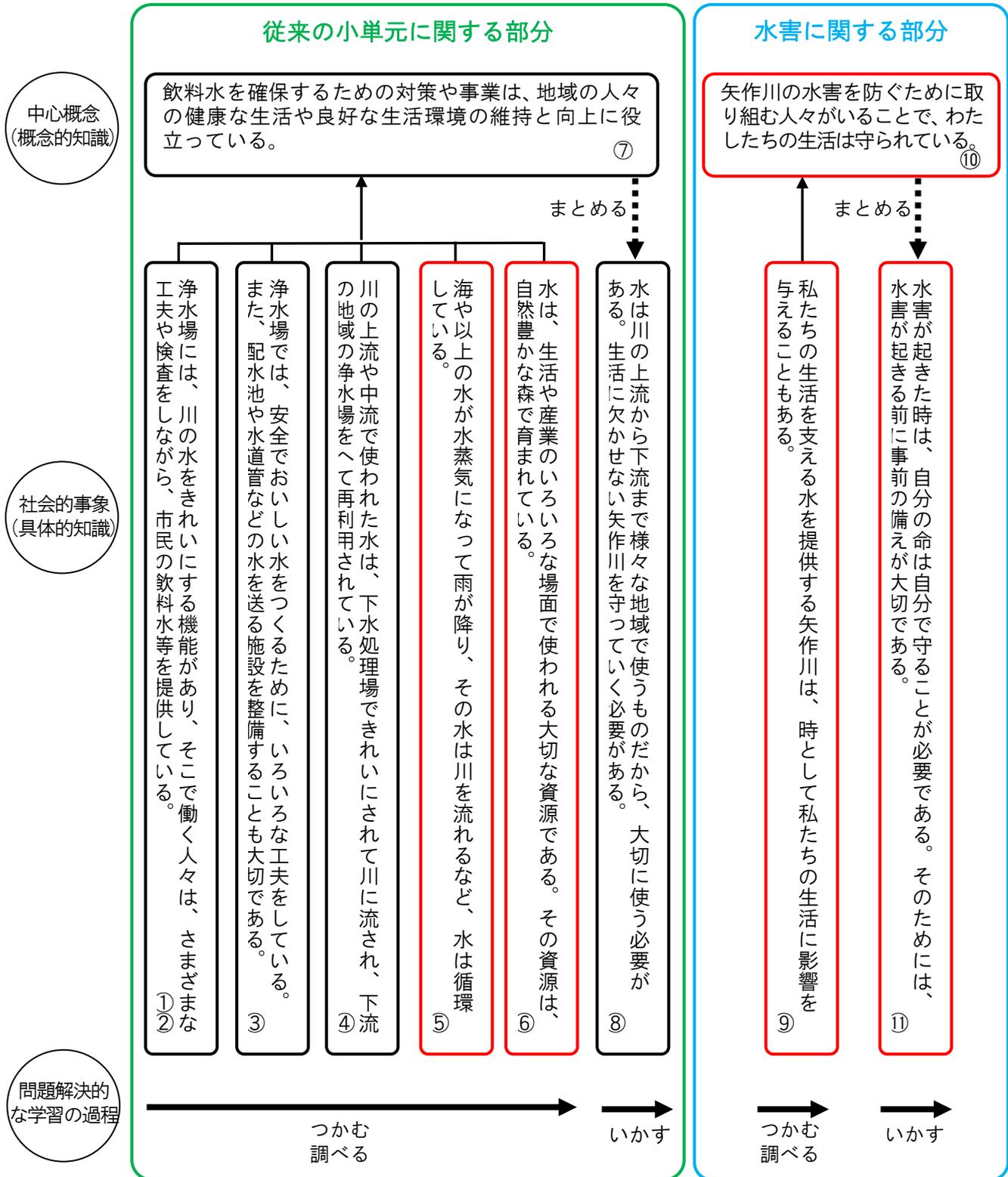
- ①飲料水または矢作川の水害にかかわる対策や事業を的確に見学・調査し、具体的資料を活用して、必要な情報を集めて読み取ったり、まとめたりしている。
- ②調べたり、考えたりしたことを絵地図や資料などにまとめている。

### ○社会的事象についての知識・理解

- ①飲料水にかかわる対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。
- ②飲料水にかかわる対策や事業だけに頼らず、自分でも、これらの諸活動に関心を持ち、地域社会の一員としてよりよい生活環境を考えることの重要性を理解している。
- ③矢作川の水害から地域を守るために、様々な人が関わっていることを理解している。

## 【知識の構造図】

小単元「水はどこから」の知識の構造図を以下に示す。このうち、〇〇小学校で実施する授業内容を赤枠で示す。



## 【 指導計画 】

本教材で実施する試行授業の指導計画を下記に示す。

		各時限の タイトル	本時のねらい	評価計画	評価のふりわけ
従来の小単元に関する部分	つかむ・調べる	1. 水の使われ方と じゅんかん	私たちの生活の中でたくさんの水が使われていることを気づかせ、私たちが生活で使っている水がどこから来て、どこへ行くのかを学ぶことを通して、水が循環していることを知る。	【関・意・態】 私たちの生活で使っている水がなくなる理由を調べようとしている。	ワークシートおよび単元テストの設問【1】1. の回答結果より、下記の観点から成績を評価する。 ★ワークシート ・授業の内容を踏まえ、水がなくなる理由に関する記述がある。 （評価につなげるキーワード例：水が循環しているから、水源地から水がきている、下水処理場できれいになって三河湾に流れ込んでいる 等）→【関・意・態】に該当  ★単元テスト ・水源地から三河湾までの水の流れのイラストより、水の循環について理解し、図から読み取れている。 →【技】に該当
		2. 水のふるさと	矢作川の水のふるさは「大川入山」であることを学び、矢作川の水がどのようなことに利用されているのかを考えることを通じて、矢作川の水が多く人々の生活と関わっていること（水は大切であること）を理解する。	【知・理】 矢作川の水が私たちの生活とどのように関わっているのかを理解している。	ワークシートおよび単元テストの設問【1】2. の回答結果より、下記の観点から成績を評価する。 ★ワークシート ・授業の内容を踏まえ、矢作川の水が私たちの生活と関わっている旨の記述がある。 （評価に繋がるキーワード例：飲水、洗濯、お米や野菜を育てるのに使っている、カヌーなどの遊び場等）→【知・理】に該当  ★単元テスト ・矢作川の水のふるさとと私たちの生活との関わりについて正しく回答できている。 →【知・理】に該当

		各時限の タイトル	本時のねらい	評価計画	評価のふりわけ
水害に関する部分	つかむ・調べる	3. 矢作川と水害	大雨によって川の水が多くなると川の水が溢れる可能性があることを伝え、川の水が溢れると私たちの生活に影響をあたえることに気づかせる。 また、昔、矢作川では、東海豪雨により大きな被害が出たことを伝えることで、自分たちの身近な場所でも東海豪雨のような被害が起こりうることを気づかせる。	【関・意・態】 川の水が溢れた時の私たちの生活に与える影響を調べようとしている。	ワークシートおよび単元テストの設問【2】の回答結果より、下記の観点から成績を評価する。 ★ワークシート ・授業の内容を踏まえ、川の水が溢れると私たちの生活に影響を与える旨の記述がある。 (評価に繋がるキーワード例：家が水浸しになる、移動できない、家族と連絡がとれない等) →【関・意・態】に該当  ★単元テスト ・増水時のイラストより、川の水が溢れると私たちの生活に与える影響について正しく回答できている。 →【知・理】に該当
	まとめる	4. 矢作川の水害をふせぐ工夫	前の授業で習った東海豪雨のような水害を起こさないために、矢作川では、様々な取り組み（堤防を作ったり樹木を伐採したり、水害に備えた訓練等）をしていることを理解する。また、大雨が降って「避難勧告」が出たら、ただちに避難を開始すること、どこから情報を得るかを学ぶ。	【知・理】 水害から私たちの生活を守るための取り組みについて理解している。	ワークシートおよび単元テストの設問【3】【4】の回答結果より、下記の観点から成績を評価する。 ★ワークシート ・授業の内容を踏まえ、水害を防ぐ取り組みに関する記述がある。 (評価に繋がるキーワード例：排水機場、堤防、樹木伐採、ポンプ車による排水等) →【知・理】に該当  ★単元テスト ・矢作川で起きた水害および水害を防ぐ取り組みについての内容を正しく回答出来ている。 →【知・理】に該当
	いかす	5. 私たちにもできる水害へのそなえ	水害から自分の命を守るために、ハザードマップを使って避難する場所を知ると共に、避難の行動を理解する。 【自助を学ぶ】	【思・判・表】 水害から自分の命を守るための行動にはどのような行動があるかを考え、表現している。	ワークシートおよび単元テストの設問【5】の回答結果より、下記の観点から成績を評価する。 ★ワークシート ・授業の内容を踏まえ、自分や家族の命を守るために水害に備えた行動に関する記述がある。 (評価に繋がるキーワード例：避難する、情報を確認する、ハザードマップを確認する等) →【思・判・表】に該当  ★単元テスト ・水害が起きそうな時に、自分の命を守るための避難行動を考え、判断できている。 →【思・判・表】に該当

参考資料：文科省による評価の観点

- I 関・意・態：社会的事象に関心を持ち、それを意欲的に調べ、社会の一員として自覚をもってよりよい社会を考えようとする。
- II 思・判・表：社会的事象から学習問題を見いだして追求し、社会的事象の意味について思考・判断したことを適切に表現している。
- III 技能：社会的事象を的確に観察、調査したり、各種の資料を効果的に活用したりして、必要な情報をまとめている。
- IV 知・理：社会的事象の様子や動き、特色及び相互の関係を具体的に理解している。

(文部科学省、「各教科等・各学年等の評価の観点及びその趣旨」)

# 3

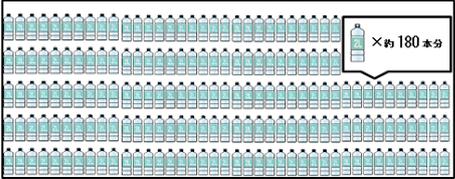
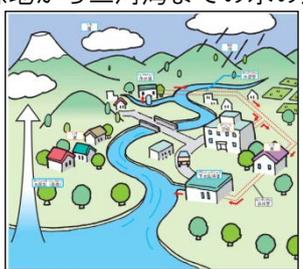
## 発問計画・学習教材

### 1 時限目 水の使われ方とじゅんかん

本時のねらい（目標）

私たちの生活の中でたくさんの水が使われていることを気づかせ、私たちが生活で使っている水がどこから来て、どこへ行くのかを学ぶことを通して、水が循環していることを知る。

※指導計画の「-----」は、予想される児童の発言（児童に伝えたい発言）を示す。

流れ	指導計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
導入 (5分)	<p>1. 日常生活で水がどのくらい使われているかを気づかせる。</p> <p>発問： 一人1日何リットルの水を使っているでしょう？</p> <p>-----</p> <p>・20L、50L、100L 等</p> <p>その後、日常生活のどんな時に水を使っているのかを問いかける。</p> <p>-----</p> <p>・歯みがき、手洗い、トイレ お風呂、洗濯 ・私たちの生活には、たくさんの水が必要。 ・この水はどこからやってくるのか？</p>	<p>・「人が一日に使う水の量のイラスト」より、生活の中で大量の水を使っていることに気づかせ、その水はどこから来ているのかを考えさせる。</p> <p>・「日常生活での水の利用を連想させるイラスト」より、自分たちの生活の中で水を使っていることに気づかせる。</p>	<p>○人が1日に使う水の量のイラスト ※ペットボトル2Lの実物も用意する。</p>  <p>○日常生活での水の利用を連想させるイラスト</p>  <p>自分達の生活には大量の水が必要であることを気づかせる。</p>
展開 (30分)	<p>2. 私たちの使っている水（蛇口から出てくる水）が、どこから送られてくるのか、使った水がどこへ行くのかについて話し合う。</p> <p>主発問： どうして水はなくなるのでしょうか？</p> <p>-----</p> <p>【学校までの水の流れ】</p> <p>・矢作川の水を使っている。 ・矢作川の水は、大川入山に降った雨や雪が地下にしみこみ、地下を通して来ている。 ・矢作川の水は、泉源地で組み上げられ、薬できれいにされる。 ・水道管を使って、家や学校に運ばれる。 ・学校で使った水は、どこへ行くのか？</p> <p>-----</p> <p>【学校で使った水の流れ】</p> <p>・蛇口から排水管を通して、排水口へ流れる。</p>	<p>・大量の水が水源地から来ていることに気づかせた後、水源地から学校まで水が送られてくることに気づかせる。</p> <p>・学校で使った水がどこへ行くのかを考えさせた後、学校から三河湾までの水の流れを考えさせる。</p>	<p>○水源地から三河湾までの水の流れ</p>  <p>学校で使っている水は、水源地から浄水場を通して運ばれていることを学ぶ。 学校で使った水は、下水処理場で処理されてから三河湾に流れ込むことを学ぶ。</p> <p>◎水の循環を示すカード ※「水源地→水道管→浄水場→蛇口→排水管→下水処理場→三河湾」の循環の流れを引き出すためのカードを用意する。</p>

流れ	指導計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道管を通して、下水処理場に流れ込む。</li> <li>・下水処理場で汚れた水をきれいにした後、三河湾に流れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の循環を説明するイラストより、水が循環していることを伝える。</li> <li>・水がなくならないのは、水が循環しているからだと思わせる。</li> </ul>	<p>◎水の循環を示すカード</p> <p>※「三河湾→水蒸気→雲→雨」の流れを引き出すためのカードを用意する。</p>
<p>終末 (10分)</p>	<p>4. 学習内容の振り返り、授業のまとめ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【授業のまとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活の中で、たくさんの水が使われている。</li> <li>・私たちが使っている水は、水源地から水道管を通して蛇口まで送られる。</li> <li>・使った水は、やがて海へ行き雨となって再び山へ降り、川に注ぎこんだり、地下水となって湧き出ている。</li> <li>・このような流れで、水は循環している。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習でわかったことをワークシートに記入させる。</li> <li>・児童から出た意見または映像より、授業のまとめを行う。</li> </ul>	<p>○ワークシート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時で学んだ、水源地から三河湾までの水の流れと水の循環をふりかえる。</p> </div>

## 2時限目 水のふるさと

本時のねらい（目標）

矢作川の水のふるさととは「大川入山」であることを学び、矢作川の水がどのようなことに利用されているのかを考えることを通じて、矢作川の水が多く人々の生活と関わっていること（水は大切であること）を理解する。

※指導計画の「          」は、予想される児童の発言（児童に伝えたい発言）を示す。

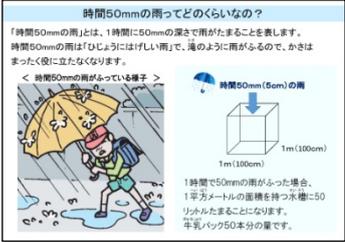
流れ	指導計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
導入 (5分)	<p>1. 前の授業を思い出し、映像を通して、矢作川の水がどこからきているのか、矢作川の水のふるさと（水源）はどのような場所であることを学ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発問： 矢作川の水はどこから流れてくるのでしょうか？</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・矢作川の上流の山 ・矢作川の上流の山はどこだろう？</p> </div>	<p>・映像を見た後、矢作川の水のふるさととは「大川入山」、矢作川の水源地は自然豊かな場所であることを学ぶ。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>矢作川の水のふるさとが段戸山であること、矢作川には豊かな自然があることを学ぶ。</p> </div> <p>◎矢作川の水のふるさと（資料）</p> <p>※水のふるさとの大川入山の概要と、矢作川の上流の様子を示す写真をまとめた資料。</p>
展開 (30分)	<p>2. 矢作川の地図を用いて、大川入山から三河湾までの水の流れを確認するとともに、矢作川の水が私たちの生活とどのように関わっているかを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主発問： 矢作川の水は、どんなことに使われているのでしょうか？</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・矢作川の水は、川の上流では、水田や畑に使われている。中・下流では、工場に使われている。 ・矢作川は、鮎釣りやカヌー、川遊びの場所としても利用されている。 ・学校や生活で使う以外にも、矢作川の水は産業や遊び場としても使われていることがわかった。</p> </div>	<p>・児童が、矢作川の地図（模式図）を使って、大川入山から三河湾までの水の流れを確認する。</p> <p>・色々な市を通って三河湾へと流れていることを確認する。</p> <p>・「矢作川の水利用のカード」を使い、矢作川の水が飲水以外にも、農業や工業といった産業に関わっていること、鮎釣りや川遊びといった活動の場として利用されていることを学ぶ。</p>	<p>○矢作川の地図（イラスト）</p>  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>矢作川の源流は「大川入山」であることを学ぶ。また、矢作川が多くの市町を流れていることを気づかせる。</p> </div> <p>○矢作川の水利用のカード</p> <p>※産業に関する水の利用 →農業、工業</p> <p>※活動の場としての川の利用 →鮎釣り、川遊び、カヌー</p>
終末 (10分)	<p>3. 学習内容の振り返り、授業のまとめ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【授業のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢作川の水のふるさととは、大川入山。</li> <li>・矢作川の水は、飲水だけでなく、農業や工業、私たちの遊び場としても生活と関わっている。</li> </ul> </div>	<p>・学習でわかったことをワークシートに記入させる。</p> <p>・児童から出た意見または映像より、授業のまとめを行う。</p>	<p>○ワークシート</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時で学んだ、矢作川の水のふるさとと水の利用を振り返る。</p> </div>

### 3時限目 矢作川と水害

本時のねらい（目標）

大雨によって川の水が多くなると川の水が溢れる可能性があることを伝え、川の水が溢れると私たちの生活に影響をあたえることに気づかせる。また、昔、矢作川では、東海豪雨により大きな被害が出たことを伝えることで、自分たちの身近な場所でも東海豪雨のような被害が起こりうることを気づかせる。

※指導計画の「」は、予想される児童の発言（児童に伝えたい発言）を示す。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
導入 (5分)	<p>1. 平常時には私たちの生活に恩恵をもたらす川が、大雨が降るとどうなるのかを考える。</p> <p>発問： ・大雨が降ると、川はどうなるでしょう？</p> <p>・雨がたくさん降ると川の水が増える。 ・川の水が増えたと、川から水があふれるかもしれない。 ・川の水があふれると、私たちの生活はどうなるのか？</p>	<p>・平常時と増水時、川の水があふれた様子が見せ、大雨が降って川の水が増えるとどうなるかを考えさせる。</p>	<p>○平常時と増水時の川の様子が変わる資料</p>   <p>平常時と増水時で川の様子が異なることを児童に気づかせる。</p> <p>○時間50mmの雨がわかるイラスト</p> 
展開 (30分)	<p>2. 川の水が溢れると、私たちの生活にどのような影響があるのかを話し合う。</p> <p>主発問： 川から水があふれると私たちの生活はどうなるでしょう？</p> <p>・川の水が溢れると、川の水が家の中に入ってくる。家の中が水びたしになる。 ・川の水が溢れなくても、土地が低い地域では、水に浸かることがある。 ・家の中が水びたしになる以外には、どんな影響があるのか？ ・住まい 例：家が水浸しで生活ができないから、避難所へ避難する。 ・移動 例：道路に水がたまっているため、移動できない。船に乗って移動する。</p>	<p>・堤防が決壊して川から水が溢れるイラストを見せて、川の水が溢れると私たちの生活に影響を与えることを気づかせる。</p> <p>・児童の意見を引き出すために、「住まい」「食事」「移動」「情報」の観点から、生活に与える影響を発言させる。</p>	<p>○川から水が溢れるイラスト</p>  <p>いつもの川      大雨が降った時の川</p> <p>◎岡崎市の浸水状況（写真）</p>  <p>岡崎市付近の浸水状況</p>

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事 例：移動できず、食料を買いに行けない。</li> <li>・ 情報 例：電話が使えず、親と連絡がとれない。</li> <li>・ 大雨により川の水が増えたり溢れたりすることで、私たちの生活に影響があることがわかった。また、水によってひきおこされる災害を水害と呼ぶことがわかった。</li> <li>・ 矢作川では、大きな水害が起きたことがあるのだろうか？</li> </ul> </div> <p>3. 矢作川では、昔、大きな水害があったことを伝えた後、東海豪雨の写真を見て、どのような被害があったのかを学ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問： 東海豪雨とはどのような水害だったでしょう？</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢作川では、昔、東海豪雨という大きな水害が起きた。</li> <li>・ 東海豪雨では、超大型の台風の影響で、大量の雨が大川入山に降った。</li> <li>・ 大量の雨が土石流となって川に流れ込み、〇〇市などの川の上流で大きな被害が出た。</li> <li>・ 東海豪雨でも、船を使わないと移動ができない、お金が手元にないなど、生活に影響があったことがわかった。</li> <li>・ 東海豪雨のような水害は、今も起こるかもしれない。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海豪雨の映像を見て、台風がなぜ起きたのか、どのような被害があったのかを学ぶ。</li> <li>・ 東海豪雨の映像より、経験者の話を聞いて、水害から学んだ教訓も学ぶ。また、東海豪雨のような水害は、今も起こるかもしれないことを学ぶ。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私たちの身近な地域でも土地が低い地域では浸水して、私たち自身や家等が水に浸かることに気づかせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>東海豪雨がどのような水害であったかを児童に伝える。</p> </div>
<p>終末 (10分)</p>	<p>4. 学習内容の振り返り、授業のまとめ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【授業のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大雨が降ると川の水が溢れる可能性がある。</li> <li>・ 川の水が溢れると、家の中に水が入ってきて生活ができない、道路に水がたまって買い物に行けない等といった生活に影響を与える。</li> <li>・ 水によって引き起こされる災害を「水害」と呼ぶ。</li> <li>・ 昔、東海豪雨による大きな水害が起きた。</li> <li>・ 東海豪雨のような水害は、今も起こるかもしれない。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習でわかったことをワークシートに記入させる。</li> <li>・ 児童からでた意見より、授業の内容をまとめる。</li> </ul> <p>(・時間が余るようならば、「東海豪雨(映像)」を流す。)</p>	<p>◎ワークシート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>東海豪雨の内容を深めるための施設を紹介する。</p> </div>

## 4時限目 矢作川の水害をふせぐ工夫

本時のねらい（目標）

前の授業で習った東海豪雨のような水害を起こさないために、矢作川では、様々な取り組み（矢作川放水路や堤防を作ったり、水害に備えた訓練等）をしていることを理解する。また、大雨が降って「避難勧告」が出たら、ただちに避難を開始すること、どこから情報を得るかを学ぶ。

※「避難勧告」が題材として最適が調整中

※指導計画の「」は、予想される児童の発言（児童に伝えたい発言）を示す。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
導入 (5分)	<p>1. 前の授業で習った東海豪雨を思い出し、東海豪雨のような大きな水害が起きていないのはなぜかを問いかける。</p> <p>発問： 最近、矢作川で大きな水害が起きていないのはなぜでしょう？</p> <p>・ 川の水を溢れないようにしている。 ・ 川の水の量を調整している。 ・ 誰が、どんなことをして、矢作川で大きな水害を起こさないようにしているのか？</p>	<p>・ 東海豪雨の写真を見せ、その後、なぜ、大きな水害が起きていないかを考えさせる。</p>	<p>◎東海豪雨時の生活への影響写真</p>  <p>岡崎市付近の浸水状況 矢作川右岸19k付近内水浸水</p>
展開 (30分)	<p>2. 水害を防ぐためにどのような取り組みが行われているかを話し合う。</p> <p>主発問： 水害を防ぐためには、どのような取り組みがおこなわれているでしょう？</p> <p>【工事による取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢作川の水を川の途中から海へ流す矢作川放水路がある。</li> <li>・ 川の水があふれた時でも安全に川の水が流れるような堤防を作っている。</li> <li>・ 支川に溜まった水を強制的に矢作川へ吐き出すための排水機場を作っている。</li> </ul> <p>【人の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川や橋などに異常がないか、パトロールしている。</li> <li>・ 水害に備えて、消防署や消防団、役所などが一緒になって水防訓練をしている。</li> <li>・ 水害から地域を守るために、様々な取り組みをしていることがわかった。</li> <li>・ もし、東海豪雨規模の雨が降ったら、私たちはどうしたら良いのだろうか？</li> </ul>	<p>・ 水害を防ぐための取り組みは、「工事による取り組み」「人の取り組み」の категория別に、発言させる。</p> <p>・ 発言が出ない場合は、「水害を防ぐための取り組み資料」または「水害から地域を守るために一生懸命働く人々の図」を見せて、誘導する。どちらの教材を活用するかは、教員に委ねる。</p>	<p>水害が起こるメカニズムと水害を防ぐためのハード整備を学ぶ。</p> <p>◎水害を防ぐための取り組み資料 ※活用頂く教材は、選択して頂く。</p> <p>◎矢作川を管理する国土交通省</p> <p>わたしたち国土交通省は、矢作川で水害が起きないように、いろいろな取り組みをしています。… 矢作川から水があふれないように堤防を作ったし、樹木を伐採したり、いろいろな取り組みを行うことで、水害から地域を守る仕事をしています。…</p>  <p>◎矢作川の水害をふせぐために働くひとたち</p> <p>その他にも、気象台や市や町の役所、消防署や消防団などたくさんの方々が、矢作川の水害をふせぐために活躍しています。</p>  <p>発注</p>

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
	<p>3. 大雨が降って「避難勧告」が出た時に、避難するための情報を得る方法について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>発問： 水害が起きるかもしれません。逃げるための情報をどうやって集めますか？</p> </div> <p>※次の発問に繋げる際の注意点※ 最近、矢作川で大きな水害が起きていないのは、東海豪雨規模の雨が降っていないこともあります。 このため、東海豪雨規模の雨が降った場合に備え、水害が起きた時の避難の行動を考える必要があることを児童に伝えて下さい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットから、市のホームページを確認する。</li> <li>・テレビの気象情報を確認する。 ※テレビのdボタンを押して、情報を得る。</li> <li>・消防団や市役所の広報車から放送される情報を聞く。</li> <li>・市で流される、防災無線の情報を聞く。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害から自分の命を守るために、「避難勧告」が出たら避難を始めることを伝える。 ※注意 授業時間を考慮し、ここでは「避難勧告」等の用語の解説は行わない。なお、用語の解説は、児童に配布する副読本に掲載している。</li> <li>・その後、「東海豪雨規模の大雨が降った時に備えた行動」より、どこから「避難勧告」の情報を得られるかを伝える。</li> </ul>	<p>◎水害から地域を守るために一生懸命働く人々の図 ※活用頂く教材は、選択して頂く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>水害を防ぐためのハード・ソフト対策の取り組みを伝える。</p> </div> <p>○東海豪雨規模の大雨が降った時に備えた行動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「避難勧告」の情報の流れ、情報の入手先を学ぶ。</p> </div>
<p>終末 (10分)</p>	<p>4. 学習内容の振り返り、授業のまとめ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【授業のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海豪雨のような水害を起こさないために、矢作川では様々な取り組み（堤防を作ったり、ダム調整や、水害に備えた訓練等）を行っている。</li> <li>・「避難勧告」が出たら、直ちに避難を始める。情報は、テレビやインターネット等から集められる。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習でわかったことをワークシートに記入させる。</li> <li>・児童からでた意見より、授業の内容をまとめる。</li> </ul>	<p>○ワークシート</p>

※「避難勧告」が題材として最適か調整中

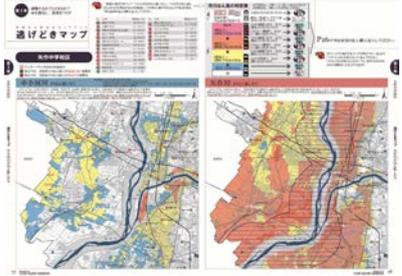
## 5時限目 私たちにもできる水害へのそなえ

本時のねらい（目標）

水害から自分の命を守るために、ハザードマップを使って避難する場所を知ると共に、避難の行動を理解する。【自助を学ぶ】

※「避難勧告」が題材として最適か調整中

※指導計画の「          」は、予想される児童の発言（児童に伝えたい発言）を示す。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
導入 (5分)	<p>1. 4時限目で習った、避難するタイミングと情報の入手方法を思い出し、どこに避難するかを問いかける。</p> <p>発問： 「避難勧告」が出たら、どこへ逃げますか？</p> <p><span style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な場所へ逃げる。</li> <li>・水が浸からない場所へ逃げる。</li> <li>・避難所へ行く。</li> <li>・避難所はどこなのだろう？</li> </ul> </span></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「避難勧告」が出た時にどこへ避難するのかを考えさせる。</li> </ul>	<p>◎東海豪雨規模の大雨が降った時に備えた行動</p>
展開 (30分)	<p>2. ハザードマップより、自分達の家や避難所の場所を確認する。</p> <p>発問： どこへ逃げたら良いと思いますか？</p> <p><span style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップは、川の水があふれた時に、水が浸かる場所を示した地図だとわかった。</li> <li>・大雨が降った時に、水が浸からない安全な場所を知るために使えることもわかった。</li> <li>・実際に避難するには、どのような行動をしたらよいのか？</li> </ul> </span></p> <p>3. 水害が起きそうな大雨が降り続き、「避難勧告」が発令されました。この状況で、自分や家族の命を守るための避難の行動をグループ毎に考える。</p> <p>主発問： 「避難勧告」が出ました。自分や家族の命を守るために、あらかじめ備えが必要です。水害に備えて何をしたらよいでしょう？</p> <p><span style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「避難勧告」が出た時の避難行動の順番は、以下のとおりだとわかった。</li> <li>①事前に準備する</li> <li>②情報を確認する</li> <li>③避難する</li> <li>・水害が起きそうなときは、川に近づいてはいけないことがわかった。</li> </ul> </span></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップより自分達の家や避難所の場所を確認する。</li> <li>・上記のハザードマップを思い出しながら、グループ毎に、キーワードカードを使って、避難の行動を並び替える。</li> <li>※川の様子を見に行っては行けないことを伝える。</li> <li>・その後、水害に備えるには、事前に準備することが大切であることを伝え、「事前に準備する」と「情報を確認する」の行動</li> </ul>	<p>◎ハザードマップ（逃げどきマップ）</p>  <p>ハザードマップ（逃げどきマップ）とは何かを学ぶ。</p> <p>◎グループワークで使用するキーワードカード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ひなんする </li> <li>◎ 情報を確認する </li> <li>◎ 事前に準備する </li> <li>◎ 川の様子を見に行く </li> <li>◎ 高い所へ上げる </li> </ul> <p>水害が起きそうな大雨が降った時に避難するまでの行動を考える。</p>

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説（◎は補助教材）
	<p>・水害に備えるには、事前に準備することが大切。具体的には何をすると良いのかな？</p> <p><b>【事前の準備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所や避難場所、避難ルートを確認しておく。</li> <li>・非常時の持ち出し品を準備する。</li> <li>・家族との連絡方法を決めておく。</li> <li>・避難のときに注意することを確認しておく。</li> <li>・雨や避難について情報を確認する方法を調べておく。</li> <li>・水害時に地域の人と協力することを考える。</li> <li>・学校や地域の避難訓練に参加する。</li> </ul> <p><b>【情報の確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報</li> <li>・避難情報の発令状況の確認（避難準備情報、避難勧告、避難指示）</li> <li>・被害や事故の情報</li> </ul> <p><b>【避難する】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服装や持ち物などの準備をする。</li> <li>・大人の指示に従って避難する。</li> <li>・周りの人と協力して行動する。</li> </ul>	<p>について、具体的に何をするのかをグループ毎に話し合う。</p>	
<p>終末 (10分)</p>	<p>4. 学習内容の振り返り、授業のまとめ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【授業のまとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所は、ハザードマップで確認できる。</li> <li>・水害が起こりそうな大雨が降った時に、自分や家族の命を守るために、事前の準備が大切。</li> <li>・事前の準備として、避難場所を確認したり、防災備蓄の内容を確認したりする。</li> <li>・事前の準備は、家族と話し合うことが大切。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習でわかったことをワークシートに記入させる。</li> <li>・児童から出た意見より、授業の内容をまとめる。</li> </ul> <p>(・本単元の水害に関する部分(3～5時間目)のまとめを、映像を見ることで行う。)</p>	<p>○ワークシート</p>